

2018年4月9日

各 位

会社名 株式会社 キャンバス  
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己  
(コード番号:4575 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役最高財務責任者兼管理部長  
加登住 眞(電話 055-954-3666)

### ファルマバレープロジェクトとの共同研究契約(2件)契約期間延長のお知らせ

当社はかねてから(公財)静岡県産業振興財団との間で2件の共同研究契約を締結しておりますが、このたび、これら共同研究契約の契約期間をいずれも2年間延長することとし、その手続が完了いたしましたので、お知らせします。

ファルマバレープロジェクトとは、静岡県が県東部地域を中心に医療健康産業クラスターの形成を目指し推進しているものです。(公財)静岡県産業振興財団のファルマバレーセンターは、このプロジェクトの中核支援機関です。

ファルマバレープロジェクトに関する詳細はウェブサイト <http://www.fuji-pvc.jp/project/> をご覧ください。

今回契約期間を延長した2件の共同研究契約の内容はそれぞれ次のとおりです。

#### 【共同研究契約(1)】

##### 「ファルマバレーセンターが有する化合物ライブラリーを用いた創薬スクリーニング」

研究目的: ヒトがんを標的とした抗がん剤開発研究

ファルマバレーセンターは、国内外から収集した独自性の高い10万を超える化合物を有しており、静岡県環境衛生科学研究所で化合物ライブラリーとして運用しています。

本共同研究では、静岡県環境衛生科学研究所から当社が化合物ライブラリーの提供を受け、当社の創薬スクリーニング系を用いて同ライブラリーからの新たな免疫系抗癌剤候補化合物探索創出を目指しています。

延長した契約期間: 2018年4月1日から2020年3月31日まで

#### 【共同研究契約(2)】

##### 「静岡県立大学大学院薬学研究院創薬探索センターが有するIDO/TDO阻害剤候補化合物の構造最適化・評価」

研究目的: ヒトがんを標的とした抗がん剤開発研究

IDOとTDOはいずれもさまざまな種類の癌細胞や癌微小環境の多くの細胞で発現している酵素で、これらの働きを阻害するIDO/TDO阻害剤は抗PD-1抗体や抗PD-L1抗体等と同じ免疫系抗癌剤のひとつとして期待されています。特に、一般に製造単価を抑制できる低分子化合物で実現できれば、高額な医療費を伴う抗体医薬が中心となっている現在の免疫系抗癌剤からの置換えやそれらとの併用による効果の増強、対象患者数の増加が期待できます。

本共同研究では、同創薬探索センターが有するIDO/TDO阻害剤リード化合物について共同で最適化および評価を実施し、新たな免疫系抗癌剤候補化合物の創出を目指しています。

延長した契約期間: 2018年4月1日から2020年3月31日まで

なお、従来(公財)静岡県産業振興財団の一部門であったファルマバレーセンターは2018年4月1日から一般財団法人ふじのくに医療城下町推進機構として独立しており、今回の2件の契約期間延長はいずれも「一般財団法人ふじのくに医療城下町推進機構」との契約となります。

過去約2年間の共同研究からIDO/TDO阻害剤候補化合物の構造最適化が進んでおり、当社の創薬パイプラインの拡充に貢献しています。

本件による2018年6月期業績への直接の影響はありませんが、IDO/TDO阻害剤に続く新たな候補化合物が今後獲得できる可能性があり、その場合には当社の中長期的な企業価値向上に寄与することが期待されます。

以上